



小郡市立大原中学校だより

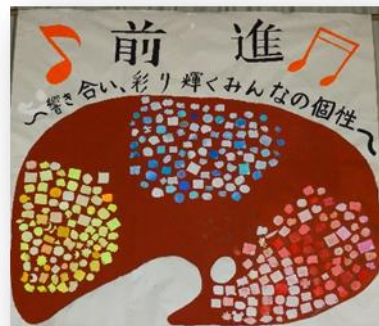
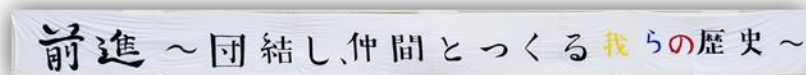
大為小積



令和2年師走24日
第17号
校長 矢野 晴一

学校教育目標:「目的意識をもって自ら学び心豊かにたくましく生きる生徒の育成」

『大原中』の2学期を振り返って!!



2学期もさまざまな制限を余儀なくされましたが、そのような状況の中で開催した体育大会や文化発表会では、リーダーを中心に、「**前進**」というスローガンにこだわりながらがんばり抜き、たくさんみなさんから大きな拍手をいただくことができました。そんな子どもたちの奮闘に対し、心から敬意を表します。

さて、この2学期を振り返り、子どもたちには次の三つの視点で自分自身の姿と向き合ってもらいたいと考えています。

- 日々の小さな努力の積み重ねを大切にする自分自身であったか!
- 仲間との「つながり」を大切にする言動ができる自分自身であったか!
- 「ありがとう」の気持ちを伝えることができる自分自身であったか!

勉強でも部活動でも、つまずいたり転びそうになったりしたときに、ふんばって「よーし! もう一歩」と自らを励ましながらかみ一歩ずつ前に進むことで目標が近づいてくるのではないかと考えます。また、相手のことを大切に思う言葉や行為によってはじめて「つながり」を感じることができるのではないかと考えます。

「手の届く具体的な目標を立て、ひとつひとつクリアしていけば、はじめは手が届かないと思っていたこともやがて手が届くようになる」

この言葉は、イチロー氏の言葉ですが、あせらず、あわてず、あきらめずにコツコツと取り組むことの大切さを教えてくれる言葉です。3年生の子どもたちは今、受験に向けて「あせり」や「不安」と闘いながら日々がんばっている真っ最中です。ぜひ、「**ひとつひとつ具体的に**」日常の小さな努力の積み重ねを大切にしてほしいと願っています。

「ひたむきに、コツコツと・・・!」 三者面談期間中の教室

12月10日(木)から、進路決定のための教育相談を行いました。三者面談が会議室で行われている間、教室では、自らの課題に向き合い、黙々と学習に取り組む3年生の姿がありました。

近づいてくる受験期に向けて、寸暇を惜しむように**ただひたむきに小さな努力を積み重ねる姿**をみると、毎日夜遅くまで勉強している姿が脳裏に浮かんできて、思わず心の中で「体調に気をつけて!」とつぶやいていました。

吐く息の 白き際立つ 紅き頬
子らの笑顔に 我もほほえむ
晴一

『前進』からのさらなる飛躍を！ 生徒会の襷をつなぐ

1月18日（水）の生徒会役員選挙で、会長と副会長が決定していましたが、その後協議が重ねられ、**令和3年度の生徒会役員・専門委員長の体制が決定**しましたので、お知らせします。

大原中のことを
頼んだぞ！

先輩、任せて
ください！

【令和3年度 生徒会拡大執行部(敬称略)】

会長・副会長	【会長】	【副会長】
執行委員		
専門委員長	【中央】 【学習】 【給食】 【保健体育】	【環境】 【情報】 【文化】

新しい拡大執行部となったみなさんには、これまで支えてきてくれた3年生から「前進」という襷が渡されます。先輩たちの思いや願いを受けとめ心に刻むとともに、冬期休業中に行われる生徒会リーダー研修会において議論をしながら、自分たちの生徒会のあり方や活動を充実させるための方策についてしっかり考えてくれるものと期待しています。新しいリーダーたちを中心に、本校の生徒会活動がさらに充実することを心から願っています。

「子どもたちの活躍は続きます！」 ～ 各コンクールの表彰 ～

今、学校に各コンクールの入賞の連絡が来ています。本来ならば、体育館で全校生徒の前で表彰したいのですが、現在それができません。表彰については、随時校長室で行っております。子どもたちの活躍については、学校だより等でお伝えしていきたいと思ひます。

「第30回花の絵コンクール」において、**3年生の** **さんが特選**に、**2年生の** **さんが入賞**、また、「歯の健康ポスターコンクール」において、**1年生の** **さんが入賞**することができました。

これからも、子どもたちのさまざまな活躍を期待するとともに応援していきたいと思ひます。

小さいけれど大きな感動 …その18 「歴史に思いをはせる！」

本校の玄関のところに「大原中学校人権宣言」が掲示してあります。この宣言は、毎年の生徒総会議案書にも記載してあり、本校の子どもたちも職員も常に心に刻みながら日々の生活を送っています。宣言文の末尾をみると、「**1997年(平成9年)10月31日 大原中学校生徒会**」と記してあります。

この「宣言」は、30年以上前の先輩たちが、当時の「いじめ」の問題に正面から向き合い「集団のあり方」について徹底的に意見を出し合い、話し合いを重ね、人権について考え抜いてできたものです。自分たちの問題に真剣に向き合い、自分たちで考え、宣言として自分たちで発信した姿に感動を覚えます。

子どもたちは、人権学習の中でこの「宣言」について学習しますが、私たちは、これからもこの精神を受け継いでいくとともに、先輩方の奮闘に思いをはせながら、今の自分の姿をみつめ、学級集団、学年集団の姿がこの願いに応えるものであるかを見つめていかなければと決意を新たにしました。

